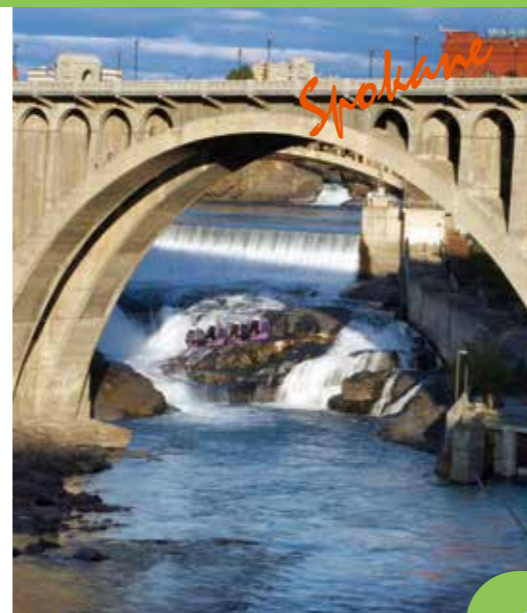
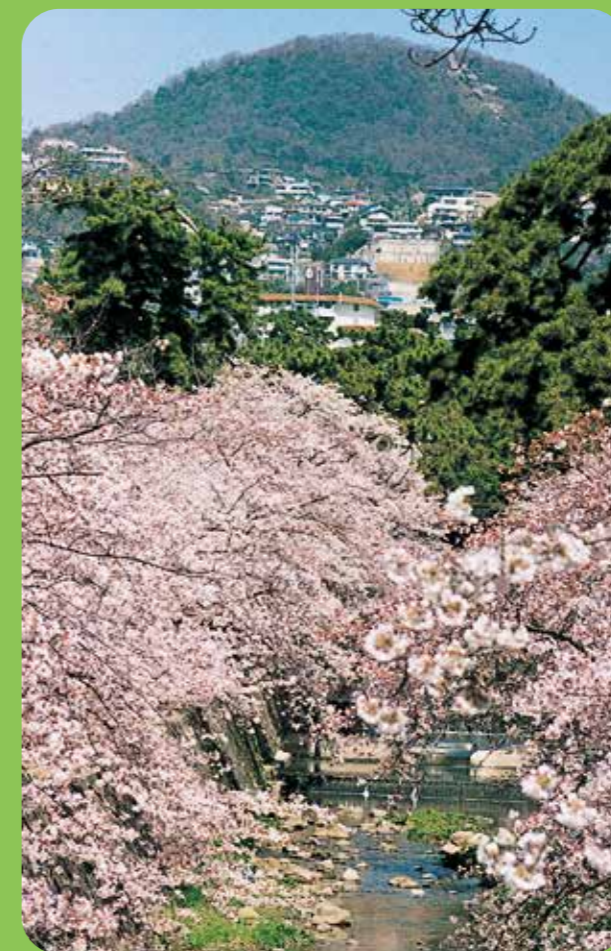




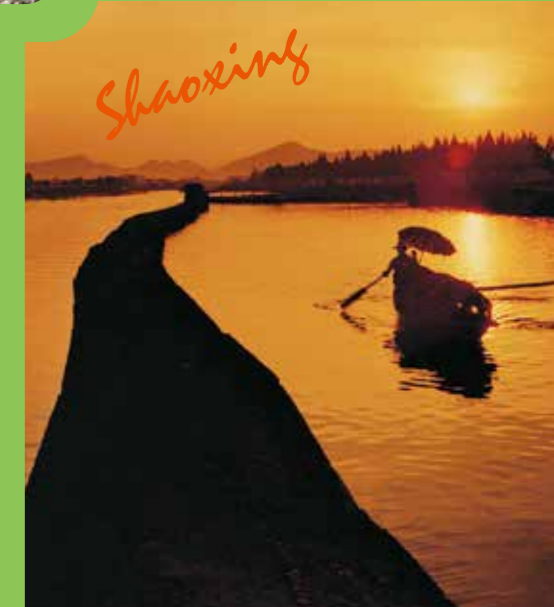
姉妹友好都市との  
交流事業にご参加下さい。



NISHINOMIYA'S  
SISTER  
CITY  
AND  
FRIENDLY  
CITIES



西宮市の  
姉妹友好都市



■お問い合わせは…

**西宮市秘書課**

〒662-0911 西宮市池田町11番1号 フレンテ西宮4階  
TEL.(0798)35-3459 FAX.(0798)32-8673

『西宮市の姉妹友好都市』(2018年3月)  
発行/西宮市



海外

■スポークン市(アメリカ合衆国)

提携年月日 / 1961年(昭和36年)9月13日

提携に至った経緯

1960年10月、スポークン都市提携委員長より都市提携を結びたい旨の内容が市民を通じて西宮市長に伝えられ、1961年1月新年の挨拶を兼ねてスポークン市より姉妹都市提携の申し入れがあり、同年5月都市提携研究委員会を設置、種々検討の結果提携すべき旨の答申を行い、同年7月西宮市議会はスポークン市との都市提携を満場一致で可決、同年9月の正式の受諾文を送り、折り返しスポークン市長の特使により姉妹都市宣言文が届けられ提携が成立した。



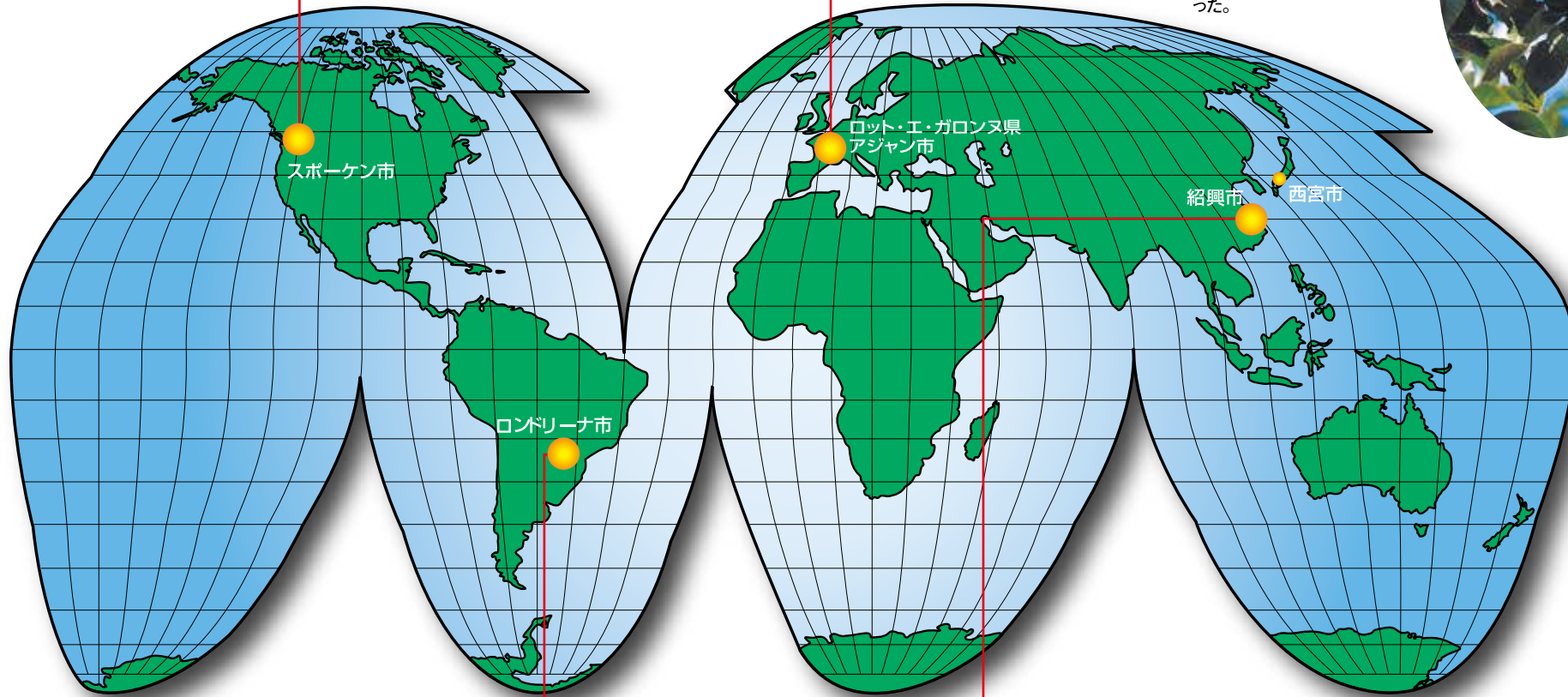
■ロット・エ・ガロンヌ県

■アジャン市 (フランス)

提携年月日 / 1992年(平成4年)4月17日

提携に至った経緯

1985年市内の芸術家の紹介により、画家フランソワ・バブレー氏と西宮市長が京都で面談し、その後、その画家の紹介で、1989年ロット・エ・ガロンヌ県議会議長のジャン・フランソワボンセ氏とも懇談。1990年には、同議長、アジャン市長等が西宮市を訪問。翌年には、アジャン美術館所蔵の絵画による「フランス友好絵画展」が大谷記念美術館で開催されるなど交流が進み、同年5月には、西宮市長が、10月には市議会代表、市民からなる友好訪仏団がロット・エ・ガロンヌ県を訪れ、相互の理解が深まった。



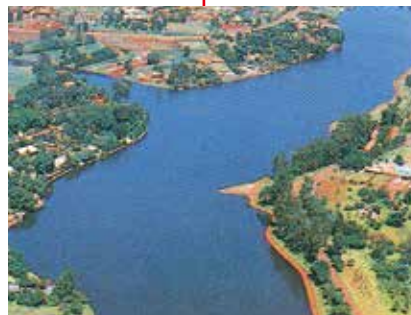
■ロンドリーナ市

(ブラジル)

提携年月日 / 1977年(昭和52年)5月11日

提携に至った経緯

1972年ロンドリーナ市より提携を希望する書簡が届き、1974年5月にロンドリーナ市長が来西提携実現を要請。その後、市内の各種団体からなる都市提携促進会が発足し、1977年5月に西宮市長、西宮市議会議長がロンドリーナ市を訪れ、友好協力提携を調印した。



■紹興市(中国)

提携年月日 / 1985年(昭和60年)7月23日

提携に至った経緯

1979年10月、西宮市各界友好訪中団が紹興市を訪問。1983年には、西宮市議会議長が中国駐大阪総領事館へ酒造りの都市同士の友好都市締結希望を、又、西宮市長らが中国大使館を訪れ、友好都市提携の希望を表明した。翌年、西宮市議会議員を中心とする訪中団が浙江省ならびに紹興市人民政府を訪問し、中日友好協会本部に友好都市締結実現へ協力を要請し、8月紹興市長一行が来西した。これらの経過をふまえて1985年1月、西宮市長は紹興市と友好締結を結びたい旨、市議会に提案すると同時に、紹興市長および中国駐大阪総領事館あて友好都市締結希望の要請書を提出し、日中友好協会に協力を依頼した。結果1985年3月、紹興市長から友好都市締結を正式決定した旨の電報を受信した。



国内

■栲原町(高知県)

提携年月日 / 1991年(平成3年)3月24日

提携に至った経緯

昭和59年、栲原町が国土庁より「リフレッシュふるさと推進モデル事業」の指定を受け、在阪栲原会を通じ西宮市へ交流の申し出があった。その後、昭和59年8月に「にしのみや市民祭り」へ栲原町の国指定重要無形文化財「津野山神楽」の参加をはじめとして、「栲原高原祭り」へ西宮市より参加するなど、長年にわたる市民と町民との交流によって提携の機運が盛り上がり、平成3年3月24日、西宮市において調印した。

栲原町の概要

栲原町は、高知県中西部の四万十川源流沿いに拓かれた自然豊かな町で人口約3,600人、面積237km<sup>2</sup>。「津野山神楽」をはじめとする独自の「津野山文化」を築き、今に伝えており、坂本龍馬をはじめ、土佐勤王党の志士らが往来した「脱藩の道(維新の道)」も通っている。現在、「環境モデル都市」として低炭素社会の実現に向け先駆的に取組を進めている。



■奄美市(鹿児島県)

提携年月日 / 1981年(昭和56年)10月31日

再調印年月日 / 2006年(平成18年)8月26日

提携に至った経緯

昭和30年、医療施設と医師不足に悩む奄美大島へ、当時の菊池回生病院長が有志と10余年間毎夏訪れ、住民の健康診断や衛生思想の普及に取り組み、その後42年よりライオンズクラブのスポンサーにより、西宮市内と奄美諸島の中学生の交歓行事が行われるなど、長年にわたる市民交流によって提携の機運が盛り上がり、昭和56年10月31日、旧名瀬市(現奄美市)において調印した。また、名瀬市と近隣の1町1村が平成18年3月20日に合併して、新しく奄美市となったことに伴い、平成18年8月26日、改めて西宮市において調印した。

奄美市の概要

奄美市は奄美大島の中部から北部にかけて位置し、奄美群島の中心地。鹿児島市から南に約380km離れ、人口約43,000人、面積308km<sup>2</sup>。特産品として奄美黒糖焼酎、本場奄美大島紬等がある。世界自然遺産登録に向けての取組が進む。







# スポーケン市

Spokane



- 人口 約21万人
- 面積 約150平方キロメートル
- 言語 英語
- 気候 カスケード山脈とロッキー山脈の間に位置し、そのため大陸性の冬からも、湿度の高い海洋性気候からも守られている。四季ははっきりしており、夏は乾燥してほとんど雨が降らず、冬は数十センチの積雪がある。



スポーケン市は、アメリカ・ワシントン州シアトルから東へ約450km、カナダ国境から南に177kmに位置する、シアトルに次ぐワシントン州第2の都市。まちの中心部にスポーケン川が流れ、自然環境に恵まれた美しいまちです。西宮市と同様に大学のまちでもあります。1990年、武庫川女子大学がスポーケン市に分校を設立し、毎年数多くの学生がスポーケン・キャンパスで学んでいます。

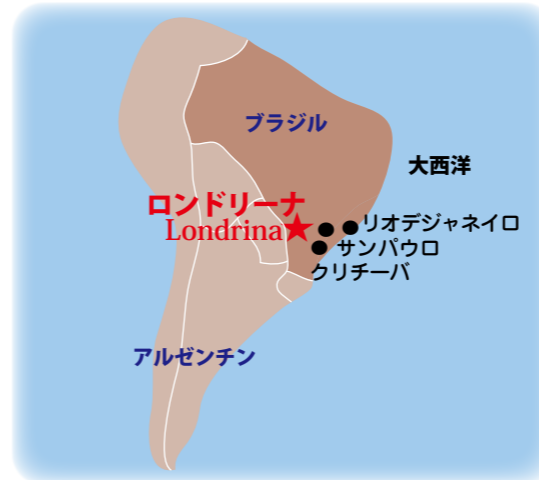
## Spokane

項目	スポーケン市
◆名前の由来	アメリカ先住民の言葉で「太陽の子供たち」を意味します。
◆まちの歴史	スポーケン一帯は、むかしスポーケン族をはじめ様々な先住民族が住んでいました。1810年に毛皮商人たちが初めてこの地に定住し、1860年代に宣教師、鉱夫、農夫などが生活を始めました。1881年にノーザン・パシフィック鉄道がスポーケンまで延びたおかげで、スポーケンから全米各地への行き来が可能になり、この年、周囲のまちが合併してスポーケン・フォールズ市（後にスポーケン市に改名）が誕生しました。
◆主要産業	伝統産業である林業、農業、鉱業、地元産の食材を利用した食品加工業などの製造業に留まらず、産業は多様化してきました。現在スポーケンは医療、教育、宇宙航空、バイオテクノロジー、観光など様々な分野においてアメリカ北西内陸部の中核としての役割を担っています。
◆観光	スポーケンは豊かな自然に恵まれ、ハイキング、キャンプ、スキーやゴルフなど、様々なアウトドアスポーツを楽しむことができます。たくさん公園があり、ダウンタウン中心に位置する、広さ40ヘクタールのリバーフロント・パークは、1974年の万博の跡地であり、主な人気の野外イベント会場であると同時に、市民の憩いの場となっています。南部にあるマニト・パークには、バラ園のほか「西宮ツタカワ日本庭園」があります。5月に開かれる「ライラック祭り」、約5万人が参加するマラソンレース「ブルームデイ・ラン」、世界最大規模のスリー・オン・スリーの大会「フープフェスト」など、毎年、多数のイベントが催されています。

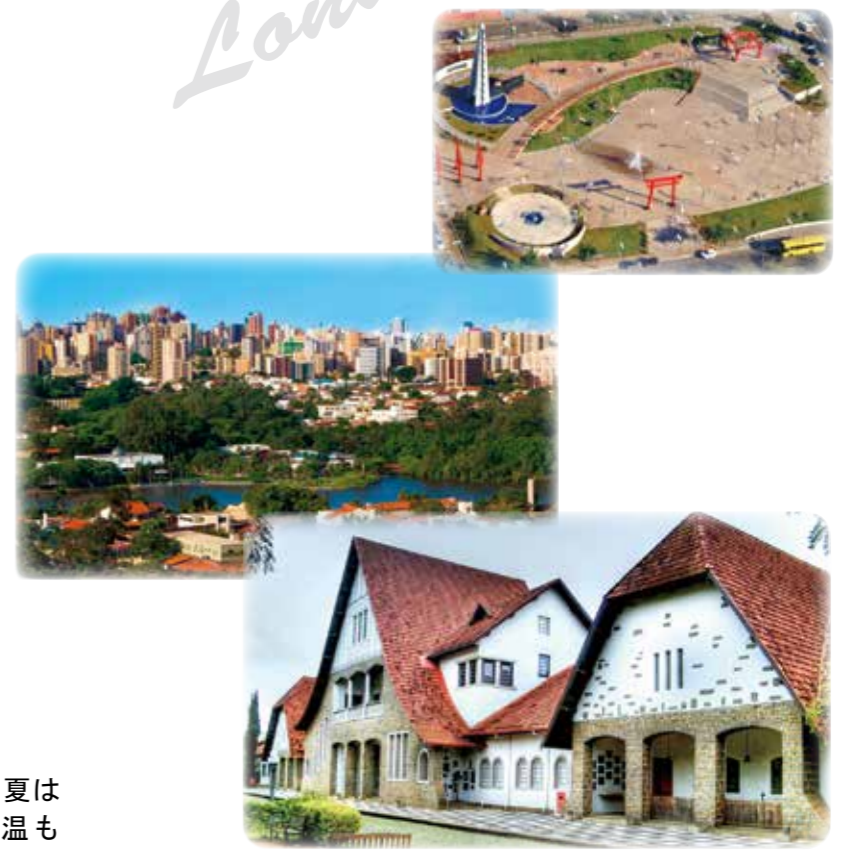


# ロンドリーナ市

Londrina



- 人口 約56万人
- 面積 約1650平方キロメートル
- 言語 ポルトガル語
- 気候 市の南部を南回帰線が横切っており、夏は暑く、冬は比較的温暖で年間平均気温も22℃と高く、亜熱帯多雨気候である。

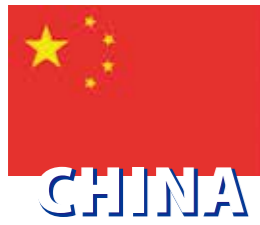


ロンドリーナ市はブラジル・パラナ州にある人口約56万、面積1650平方キロメートルの都市でサンパウロの西約500kmにあり、日系人も約2万5千人在住しています。コーヒーの栽培が有名でしたが霜害のため縮小し、近年は工業のまちへの脱皮をすすめIT産業も急成長しています。市内には大学が8校あり、西宮とよく似た文教都市といえます。昭和52年（1977年）5月に友好協力都市の提携をしました。

## Londrina

項目	ロンドリーナ市
◆名前の由来	北パラナ州開発を手がけた土地会社が英国資本であったことから、開拓と居住を記念して「ロンドン」にちなみ、「ロンドリーナ」（小さなロンドン）と名付けられました。
◆まちの歴史	1926年に北パラナ開発土地会社が設立され、1930年頃からは人口2万人程度の町を目標にブラジル全土と世界30カ国から移住者を迎えました。1934年には郡制となり市に昇格、現在ではブラジル南部3州第3のまちに成長しました。
◆主要産業	世界最大の玄武岩台地の地質からできた土壌でテラ・ローシャ（紅土）を生かした農業が盛ん。主要輸出品として大豆、トウモロコシ、ラミー繊維、インスタントコーヒーなどがあります。近年、エタノール、砂糖などの工業、林業、パルプ産業、天然資源開発が進み、工業都市へ発展しています。またIT産業が急成長し、パラナ州のIT市場の拠点になっています。
◆観光	国際サーキット/コーヒーサッカー場/カテドラル/カルロス・ブアイス歴史博物館/IAPARパラナ州立農学研究所/アプラカラニニャ滝（114メートル）/ロンドリーナ文化センター/カトゥアイショッピングセンター/ゼロン運動公園/イガポー湖/アルトゥール・トマス自然公園/西宮公園/ロンドリーナ美術館/カルサドン歩行者天国





# 紹興市

Shaoxing



- 人口 約440万人
- 面積 約8256平方キロメートル
- 言語 中国語
- 気候 温帯と亜熱帯の境目に位置し、浙江の山地と沿岸の河川網が広がる平原が接する地帯にあり、亜熱帯モンスーン気候の特色を備えている。四季の区別がはっきりした穏やかな気候で、年間平均気温は17℃である。

紹興市は中国東南沿海部、長江デルタ地帯南翼に位置し、上海から230km、杭州から60kmの距離にあります。浙江省に属し3区2市1県を管轄しています。江南の風情あふれる「水の郷」「橋の郷」、文豪魯迅の生誕地「名士の郷」、書聖王羲之ゆかりの「書道の郷」、2500年にわたる酒造りの歴史を持つ「酒の郷」、「地方劇の郷」などと讃えられる歴史と文化の町です。

## Shaoxing

項目	紹興市
◆名前の由来	南宋の高宗趙構が越州に臨時首都を置いた際、“帝の位を継承し再び興す”との願いをこめ年号を紹興とし、越州を紹興と改名しました。
◆まちの歴史	7千年以上前の河姆渡(かぼと)遺跡の中心地で4千年以上前には夏王朝の始祖・舜(しゅん)王や大禹(だいう)が足跡を残しました。昔は会稽と呼ばれ、春秋時代の紀元前490年には越の国都が置かれ越王勾踐(こうせん)の故事が伝えられました。秦の時代に設置された会稽郡は隋の時代に越州と改められます。南宋時代には二度にわたって臨時首都がおかれ、1131年には紹興府に昇格、中華民国時代には紹興行政督察区、中華人民共和国成立後は紹興専区、1983年からは紹興市が設置され現在に至っています。
◆主要産業	工業では紡績、機械、食品、建材などが盛んですが、近年、電子情報、メカトロニクス、医薬、化学工業などハイテク産業も発展しています。 農業では茶葉、落花生、かや、葡萄、真珠などの特産品があります。 中国で最も経済が発達した地域の一つであり、中国歴史文化都市、中国優秀観光都市などに選ばれています。
◆観光	東湖/府山/蘭亭(東晋の書家王羲之が永和九年(353年)に「蘭亭集序」を書いた所)/秋瑾故居/魯迅故里(魯迅が青少年期過ごした所。魯迅祖居、魯迅故居、百草園、三味書屋など)/周恩来記念館/大禹陵/沈園/環城河/柯岩/など。主な祭りとして、蘭亭書道祭、大禹祭、紹興黄酒祭など。



# ロット・エ・ガロンヌ県

## およびアジャン市

Lot-et-Garonne and Agen



- 人口 ロット・エ・ガロンヌ県：約33万人  
アジャン市：約3万人
- 面積 ロット・エ・ガロンヌ県：約5400平方キロメートル  
アジャン市：約11.5平方キロメートル
- 言語 フランス語
- 気候 夏は暑く、大西洋や地中海の影響により湿度が変化し、時折の雷雨をとまなう。9月の平均気温は18℃。1月の平均気温は5℃。



フランス南西部のアキテーヌ州に属するロット・エ・ガロンヌ県、その県庁所在地がアジャン市。アジャン市は、パリから南西に約620km、地中海側のトゥールーズと大西洋側のボルドーとのちょうど中間に位置します。豊饒の大地、フランスの果樹園といわれるほど広々とした肥沃な土地では、果物や野菜の栽培が盛んに行われ、田園地帯のあちこちに姿を見せる古城、城壁で囲われた中世の街並、自然と歴史的景観が調和して現代に息づいています。

## Lot-et-Garonne and Agen

項目	ロット・エ・ガロンヌ県およびアジャン市
◆名前の由来	県内を流れる、ロット川とガロンヌ川の二つの大河が合流していることから。
◆まちの歴史	ローマ帝国が、大西洋岸のボルドーに向かう軍用および商業用の道路を築き、交通の要所としてアジャンのまちを作りました。中世にはイギリス領となり、百年戦争終了前にはフランス王のもとに戻ったものの、16世紀には宗教戦争の舞台として血なまぐさい歴史を経ました。
◆主要産業	温暖な気候と肥沃な土地の恩恵を受けて、ロット・エ・ガロンヌ県は昔からフランス農業の中心地です。穀物、果樹、野菜栽培が盛んで、特にプラムは国内生産の7割を占めています。豊富な農産物を材料とした食品加工業、製菓業が盛んです。
◆観光	豊かな自然と歴史的遺産、そして温暖な気候にめぐまれたロット・エ・ガロンヌ県には、フランスのみならずヨーロッパ中から多くの観光客が夏のバカンスを過ごしにやって来ます。その時期に、モンフランカン中世祭り、モンクラボーほら吹き祭りなど、音楽や演劇などのフェスティバルが数多く催されます。 アジャン市は、中世の建築物がそのまま残る旧市街や、南仏運河がガロンヌ川と垂直に交差する有名な運河橋、アジャン美術館などが見どころです。